

# 第3回協議会以降の活動状況

---



国土交通省

海外港湾物流プロジェクト協議会事務局  
(港湾局産業港湾課)

※赤字が第3回協議会以降に開催したものの

WGの開催

セミナー等の開催

海外港湾物流プロジェクト協議会

インドネシアWG

2010.11.11第1回開催  
2011.3.25第2回開催  
2011.7.29第3回開催

コアメンバー会議  
(3回開催)

①2012.8.20第4回開催 (ミャンマーと合同)  
⑤2013.3.1第5回開催

日インドネシア港湾セミナー

(2010.12.2インドネシアにて第1回開催)  
(2012.2.29インドネシアにて合同セミナー開催)  
2011.10.18インドネシア港湾開発講演会開催

メコン・ベトナムWG

2011.1.25第1回開催  
2011.5.26第2回開催  
2011.9.20第3回開催

コアメンバー会議  
(2回開催)

日ベトナム港湾セミナー

(2010.3.9ベトナムにて第1回開催)  
③2012.10.31ベトナム港湾開発講演会開催

インドWG

2011.2.25第1回開催  
2011.8.10第2回開催

コアメンバー会議  
(2回開催)

日インド港湾セミナー

(2011.9.29インドにて第1回開催)

ミャンマーWG

2012.6.4第1回開催

①2012.8.20第2回開催 (インドネシアと合同)

2012.3.15ミャンマー港湾開発講演会開催

②2012.8.24ミャンマーにて合同セミナー開催  
④2012.11.20ミャンマーWG講演会

制度WG

2012.3.15第1回開催

(国土交通省作成)

- ・開催日：2012年8月20日
- ・場所：竹橋合同ビル9階 講堂
- ・議事：
  - ・ミャンマー及びインドネシアの港湾開発におけるアクションプラン
  - ・ミャンマー「ヤンゴン港ティラワ地区港湾拡張事業準備調査」について
  - ・インドネシア「チラマヤ新港開発事業準備調査」について

## <結果概要>

- JICAより、ヤンゴン港ティラワ地区港湾拡張事業準備調査及びチラマヤ新港開発事業準備調査の概要について説明。両国ともに今後も経済成長が見込まれる一方、港湾施設が経済発展を果たす上でのボトルネックとなり得ると発言。
- 質疑応答では、各プロジェクトの整備に係る課題、先方政府との検討状況や各国の制度等についての質問が出される等、活発に意見交換が行われた。また、官民の役割分担についても意見が出る等、港湾物流に関心ある関係者との情報共有の促進が図られた。



- ・開催日：2012年8月24日
- ・場所：ミャンマー/ヤンゴン CHATRIUM Hotel Royal Lake Yangon
- ・議事（港湾関連）：（日本側）ミャンマーの港湾開発における日本のソリューション  
（ミャンマー側）ミャンマーにおける港湾整備について

<結果概要>

- 港湾分野として、産業立地一体型港湾の開発プロジェクト、港湾施設の整備及び運営における官民連携方式、日本の技術による効率的なターミナルオペレーションの提案を実施。また日本埋立浚渫協会より軟弱地盤改良やジャケット工法等の日本の優れた建設機技術に関するプレゼンテーションを実施。
- ミャンマー側からはミャンマーの港湾をはじめ海運（内陸水運を含む）、道路整備に関する状況についてプレゼンテーションが行われるとともに活発な意見交換がなされた。



- ・開催日：2012年10月31日
- ・場所：ルポール麹町 3階エメラルド
- ・来賓：ベトナム交通運輸省海運総局副総裁、他
- ・議事：ベトナム港湾物流プロジェクトについて最新の情報提供

#### <結果概要>

■本講演会は、ベトナム交通運輸省の来日に合わせ、ベトナム交通運輸省海運総局副総裁を招き、ベトナム港湾物流プロジェクトについて特別講演会を開催。ベトナム海運総局より、ベトナム国を6地域に分け、各地域のマスタープランや将来需要等を提示した他、カイメップ・チャーバイ港等のホーチミン周辺地域の物流開発や今後の課題等の紹介。



## ④ ミャンマーWG講演会

- ・開催日：2012年11月20日
- ・場所：霞ヶ関ビル35階 東海大学校友会館「三保の間」
- ・来賓：ニャン・トゥン・アウン運輸大臣、キン・マウン・ティン駐日大使、  
ティン・ニン・トゥン航空局長、チョウ・タン・マウン港湾公社総裁 他
- ・講演：ミャンマー港湾の現状と今後の港湾開発計画（ティラワ港プロジェクト、大水深港プロジェクト等）について

## ＜結果概要＞

- 緬国運輸省港湾公社チョウ・タン・マウン総裁より、ミャンマー港湾の現状と今後の港湾開発計画（ティラワ港プロジェクト、大水深港プロジェクト等）について、また、ティン・ニン・トゥン航空局長よりミャンマーの航空分野の現状と今後のプロジェクトについて、プレゼンテーションが行われ、日本からの協力を期待が示された。
- 官民懇談会では、両国間の出席者による活発な意見交換が行われ、閉会挨拶では、ニャン・トゥン・アウン運輸大臣より、日本での温かい歓迎について感謝の言葉が述べられた。



- ・開催日：2013年3月1日
- ・場所：砂防会館 別館B 3階・立山
- ・来賓：運輸省 海運総局次長 エルウィン氏、運輸省 港湾・浚渫局長 ケマル氏  
国家開発企画庁 運輸局 陸運課長 ダイル氏
- ・講演：チラマヤ港開発の現状について

### <結果概要>

- ケマル・インドネシア運輸省港湾・浚渫局長より、チマラヤ新港開発の現状について講演。首都圏の交通渋滞状況やコンテナ貨物の需要予測等、同港の開発が求められている背景や、新港の建設計画、スケジュール等の最新情報を提供。日本の支援を期待すると発言。
- 質疑応答では、参加者より同プロジェクトの実施にあたっての官民の役割分担の詳細に係る質問が出される等、活発に意見交換が行われ、インドネシアの港湾物流に関心ある関係者との情報共有の促進が図られた。

